



日本生命保険相互会社

BRMSとのデータ連携でシステムを刷新、保守コストを30%削減

クラウド環境下にてノーコードを駆使してシステムのブラックボックスを解消

日本生命保険相互会社は、1889年創業の日本を代表する保険会社。高品質な個人・企業向け保険商品・サービスの提供により生命保険業界を常にリードしている。同社のリーテイル販売部門管轄の業績管理システムでは、販売チャネル・商品・制度といったビジネスの高度化・複雑化とともに、長年にわたる機能改修・保守運用を重ねてきた中で、メインフレーム上で稼働する既存システムのロジック複雑化・ホスト資産肥大化が進行。開発・保守コストの高止まりやシステムのブラックボックス化といった課題を抱えていた。そこで、まずは優秀な営業成績を収めた拠点/支社・営業職員の表彰を支援するシステムの刷新に着手。JCL、COBOLによるバッチ処理を、BRMS(ビジネスルールマネジメントシステム)であるInnoRulesと「ASTERIA Warp」で置き換え、表彰対象となる成績情報公開を営業現場に対して行うための仕組みを改善。その結果、システム保守に要する工数、およびエンドユーザーの作業時間の大幅削減を実現した。

導入背景

- 拠点/支社・営業職員の表彰にかかわる規程改正の積み重ねによってシステムが複雑化し、ユーザー・システム開発担当の属人化や開発・保守コストの高止まりといった多くの課題が発生していた
- 規程は毎年変更され、それに伴う改修を最小化するためシンプルかつ効率的なシステムへの刷新が必要だった
- BIツール上に公開された表彰に関する情報を、各拠点/支社がダウンロードしてExcelに転記する作業が多大な手間となっていた

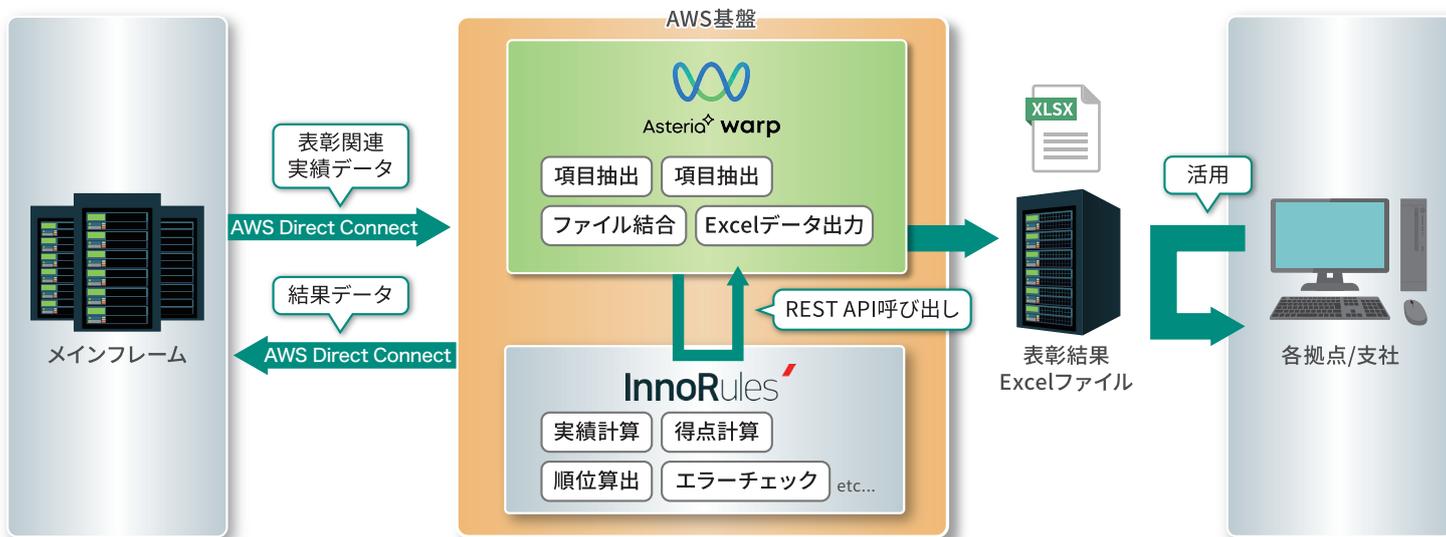
選定ポイント

- 成績評価指標に基づく相対順位算出のロジックをBRMSに実装。採用したInnoRulesとのAPIによる接続が可能
- ノーコードツールにより、開発未経験者でも一定のトレーニングによって短期間で開発可能
- ノーコード開発環境からシームレスに詳細なヘルプの参照が可能な点など、ユーザビリティが非常に高く開発がしやすい

効果

- 保守コストについて年間30%の削減が見込まれているほか、Excelファイルの自動生成により、ユーザーの手作業が月20時間削減
- ASTERIA Warp未経験の若手・中堅社員が初期開発を実施。さらに、規程改正に伴う保守開発の工数を省力化
- 決まった処理を分割できたり、他の処理を動的に呼び出したりすることが可能で、柔軟かつスピーディーに連携処理を開発

システム概要



ユーザーの一言



ASTERIA Warpでは、無償試用版利用時に提供された書籍類や製品に付属する各種ドキュメントのほか、Webサイトやユーザーコミュニティなどを通じて必要な情報を手軽に入手できる環境が整っています。こうしたことも開発未経験者が早期にツールに習熟できる重要な裏付けだといえるでしょう。また、アステリア社のパートナーであるSCSK社の手厚いサポートもあり、スピーディーに連携処理を開発することができました。日本生命では今後も引き続き、メインフレームで実行されているバッチ処理を、ASTERIA Warpを使ったノーコード開発によって、順次刷新していく予定です。今後、さらなる業務・システムの合理化に向けたDX推進に取り組んでいきます。

ニッセイ情報テクノロジー株式会社 武井 進也 様

User Profile



ニッセイ情報テクノロジー株式会社

所在地：東京都大田区蒲田5丁目37番1号 ニッセイアロマスクエア

会社概要：保険・金融に関するシステムサービス/医療・介護に関するシステムサービス/ネットワークサービス/アウトソーシング/収納代行等

業種：情報・通信業

URL：https://www.nissay-it.co.jp/